

プロトコル D-3

- ・ VEGF 阻害薬投与患者の尿蛋白および尿蛋白/クレアチニン比の検査オーダー追加
- ・ VEGF 阻害薬投与患者の D-ダイマーの検査オーダー追加
- ・ 抗 EGFR 抗体薬投与患者の血清マグネシウム値の検査オーダー追加
- ・ CDK4/6 阻害薬投与患者の血清シスタチン C の検査オーダー追加

1. 内容

がん薬物療法として分子標的薬が広く使用されているが、適正使用において副作用マネジメントが必須である。代表的なものとして、VEGF 阻害薬や抗 EGFR 抗体薬、CDK4/6 阻害薬では以下のような対応が必要である。

- ・ VEGF 阻害薬投与時に出現する尿蛋白の重篤化は稀だが、ネフローゼ症候群等に進行する可能性があるため、定期的な尿定性・定量的評価をすること。
- ・ VEGF 阻害薬投与では、血栓性微小血管症があらわれることが報告されており、定期的に検査を行うなど観察を十分に行うこと。
- ・ 抗 EGFR 抗体薬では低マグネシウム血症を認めることが報告されており、1 ヶ月ごと、少なくとも 3 ヶ月に 1 回は血清マグネシウム値を測定すること。
- ・ CDK4/6 阻害薬では血清クレアチニン値の上昇を認める場合があるが腎機能を反映しているものではないとされており、シスタチン C による腎機能評価をすること。

以上を踏まえ、医師に同意が得られた場合に限り、薬剤師による下記検査項目の追加の代行オーダーを可とする。

- ・ 眼科領域を除く抗悪性腫瘍薬として使用する VEGF 阻害薬（ベバシズマブ、ラムシルマブ、アフリベルセプト ベータなど）を投与中の患者で尿蛋白および尿蛋白/クレアチニン比、D-ダイマーが測定されていない場合の検査項目の追加
- ・ 抗 EGFR 抗体薬（セツキシマブ、パニツムマブ、ネシツムマブなど）を投与中の患者で、定期的に血清マグネシウム値が測定されていない場合の検査項目の追加
- ・ CDK4/6 阻害薬（パルボシクリブ、アベマシクリブなど）投与後に血清クレアチニン値の上昇を認める場合、かつ血清シスタチン C が測定されていない場合の検査項目の追加

2. 実施の流れ

薬剤師

- ・ VEGF阻害薬投与患者の尿蛋白および尿蛋白/クレアチニン比の検査オーダーの有無を確認
- ・ VEGF阻害薬投与患者のD-ダイマーの検査オーダーの有無を確認
- ・ 抗EGFR抗体薬投与患者の血清マグネシウム値の検査オーダーの有無を確認
- ・ CDK4/6阻害薬投与患者の血清クレアチニン値の推移および血清シスタチンCの検査オーダーの有無を確認



薬剤師

- ・ 検査未実施の場合において、医師の同意を得られれば、検査の代行オーダーを実施
- ・ 電子カルテに追加・削除理由について記載



医師

薬剤師による検査の代行オーダーを確認し、承認を実施